

記者発表資料

提供年月日：平成 29 年（2017 年）9 月 5 日
部 局 名：商工観光労働部
所 属 名：観光交流局
担 当 課：国際室 企画・交流係
担 当 者 名：上山・福田
内 線：3061
電 話：077-528-3061
e-mail：ff00@pref.shiga.lg.jp

滋賀県・ミシガン州姉妹提携 50 周年

記念式典・レセプションの開催について

本県と米国ミシガン州は 1968 年（昭和 43 年）に姉妹県州協定を締結し、2018 年（平成 30 年）で 50 周年を迎えます。これを祝し、今年 2017 年は滋賀県で、来年 2018 年はミシガン州で 50 周年記念事業を実施することとしております。

今年の 50 周年記念事業の最大のイベントのひとつとして、下記のとおり両県州知事をはじめ、各界から多くの方々にご臨席いただく記念式典及びレセプションを開催いたしますのでお知らせします。

記

1. 記念式典

日 時 平成 29 年 9 月 9 日（土）16:30～17:20
場 所 びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

2. レセプション

日 時 平成 29 年 9 月 9 日（土）17:40～20:00
場 所 びわ湖大津プリンスホテル プリンスホール

3. 参加者

両県州知事、県関係者、ミシガン州政府関係者、日本政府関係者、滋賀県議会議員、各市町関係者、各市町国際協会関係者、ミシガン州友好親善使節団（一般州民）、一般県民等、各界から 250 余名

※記念式典閉会后、プリンスホテル 3 階「函館」にて両知事の取材を受け付けます。（15 分程度）

記者発表資料

提供年月日：平成 29 年（2017 年）9 月 5 日
部 局 名：商工観光労働部
所 属 名：観光交流局
担 当 課：国際室 企画・交流係
担 当 者 名：上山・福田
内 線：3061
電 話：077-528-3061
e - m a i l：ff00@pref.shiga.lg.jp

ミシガン州知事、ミシガン州友好親善使節団の受入れについて

本県と米国ミシガン州は 1968 年（昭和 43 年）に姉妹県州協定を締結し、これまで両県州の間で、経済、生活文化、青少年等多方面にわたり相互交流を深めてきました。

両県州の姉妹友好交流は、2018 年（平成 30 年）で 50 周年を迎えます。これに向けて昨年、三日月知事がスナイダー州知事を訪問し、今年 2017 年に滋賀県で 50 周年を祝うことに合意しました。これに基づき、今年度は 50 周年記念事業を実施しているところです。

この一環として、下記のとおりミシガン州知事及びミシガン州友好親善使節団が来県されますのでお知らせします。

記

1. 第 19 回ミシガン州友好親善使節団の受入れ

奇数年は受入れの年であり、今年度は第 19 回目である。通常の使節団 32 名に加え、使節団経験者、姉妹都市代表者等の友好親善使節団アラムナイ（卒業者）団の総勢 50 余名を受け入れる。過去、ミシガン州からは 882 名、滋賀県からは 2,312 名が友好親善使節団に参加してきた。

日 程 平成 29 年 9 月 6 日（水）～15 日（金）「別添資料」

場 所 滋賀県内

2. 記念モニュメント除幕式

5 月 21 日にミシガン大学芸術デザイン学部学生と地域住民とともに信楽焼の陶板タイルへの絵付けのワークショップを開催。このタイルを組み合わせたモニュメントの除幕式を行う。モニュメントの大きさは、タイル計 104 枚、高さ 2.4 メートル、幅 3.6 メートル、タイル作りと仕上げの焼成は、知的障害者入所施設「信楽青年寮」で、絵付けは信楽町の地域交流拠点「F U J I K I」で行われた。

日 時 平成 29 年 9 月 8 日（金） 15:20～15:35
場 所 ミシガン州立大学連合日本センター アップルホール

3. 記念植樹

滋賀県とミシガン州およびミシガン州立大学連合日本センターのこれまでの関係を祝し、また、継続的な成長と発展を願って記念植樹を行う。

日 時 平成 29 年 9 月 8 日（金） 15:45～16:00
場 所 ミシガン州立大学連合日本センター 前庭

4. 両知事による揮毫

三日月知事とスナイダー知事、神田理事長（公益社団法人滋賀県書道協会）の三者で「湖」という書を大きなスケールで描くパフォーマンスを行う。

日 時 平成 29 年 9 月 9 日（土） 10:30～10:45
場 所 イオンモール草津 セントラルコート

5. 目 的 これまでの滋賀県とミシガン州の半世紀に渡る友好関係を祝うとともに、文化と芸術、人と人との交流を通して、両県州の相互理解と友好関係をさらに深め、姉妹提携 100 周年に向けた、友好交流のさらなる発展の礎を構築していく。
-